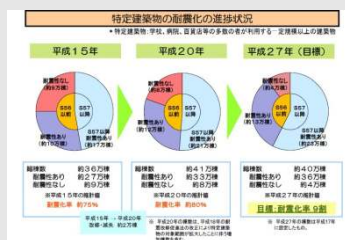


防災対策について

3月定例会で議決した主な予算①

建築物の耐震診断・改修補助の拡充	1900万円
特定建築物等の耐震診断補助	7700万円
大規模盛土造成地の調査	360万円



3月定例会で議決した主な予算②

道路斜面状況の調査	560万円
地域防災計画改定・危機管理体制強化	925万円
指定避難所再生可能エネルギー設備の設置	1億14万円



茨木市作成資料

3月定例会で議決した主な予算③

防災行政無線等の整備	3500万円
屋外拡声器付き防災行政無線の整備	1億4024万円
自主防災組織の運営支援	160万円



茨木市作成資料



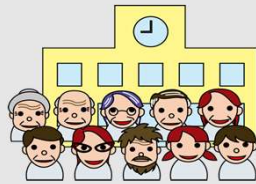
茨木市作成資料

3月定例会で議決した主な予算④

安否確認サポートシステムの改修 **380万円**

要援護者の避難受入体制の整備 **825万円**

その他 **1億7278万円**



茨木市作成資料



茨木市作成資料

主な質疑の具体的内容1

近い将来に発生が懸念されている
南海トラフ等の地震災害について

・的確な被害予想、分析情報の調査・
研究の強化

茨木市におけるより効果的な
机上訓練等の実施状況の把握

主な質疑の具体的内容2

ゲリラ的豪雨等や避難所について

- ・ゲリラ的豪雨等の雨水に対応した
ハザードマップの改訂作成
避難所設営マニュアル等の改訂整備
それら資料の全市民への配布

2014 茨木市議会

7

主な質疑の具体的内容3

避難行動要支援者名簿について

- ・災害時「避難行動要支援者名簿」の
早急な整備及び各地区諸団体への
普段からの備え付け作業の迅速化

2014 茨木市議会

8

主な質疑の具体的内容4

災害防止啓発活動について

各自主防災組織・自治会等への
災害防止啓発活動・防災訓練開催・救命
用具・備蓄食料等の一層の増加配備

茨木市の教育

～学力向上の取り組みについて～

これまでの経過

① **茨木っ子プラン22**

(第1次学力向上3カ年計画 H20～22年)

② **茨木っ子ステップアッププラン25**

(第2次学力・体力向上3カ年計画 H23～25年)

①②の取り組み成果と課題を踏まえて、3月定例会に

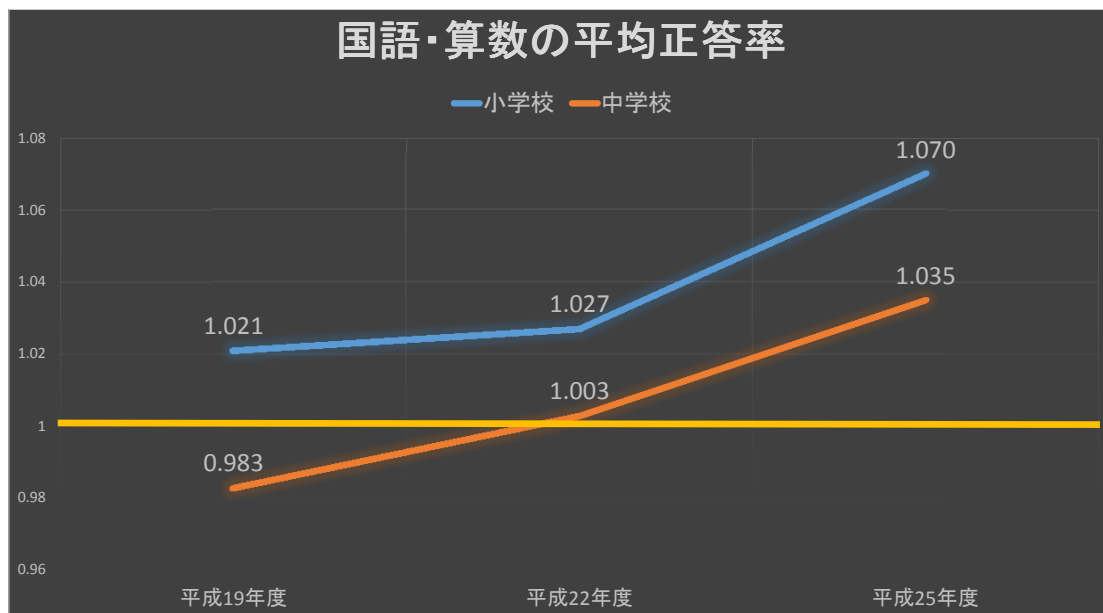
茨木っ子ジャンプアッププラン28

(第3次学力・体力向上3カ年計画 H26～28年) が提案された。

学力の全体的な状況

	項目	H19年度	H22年度	H25年度
小学校	国語・算数の平均正答率	1.021	1.027	1.070
中学校	国語・数学の平均正答率	0.983	1.003	1.035

全体的な学力の状況を見るために、全国学力・学習状況調査の国語AB、算数・数学ABの合計正答率について、**全国平均を1として算出した数値を指標としている。**



学力の全体的な状況

	項目	平成26年度全国順位	H25年度	H26年度
小学校	国語・算数の平均正答率	大阪府 41位 茨木市 5位	1.070	1.048
中学校	国語・数学の平均正答率	平成26年度全国順位 大阪府 45位 茨木市 8位	1.035	1.027

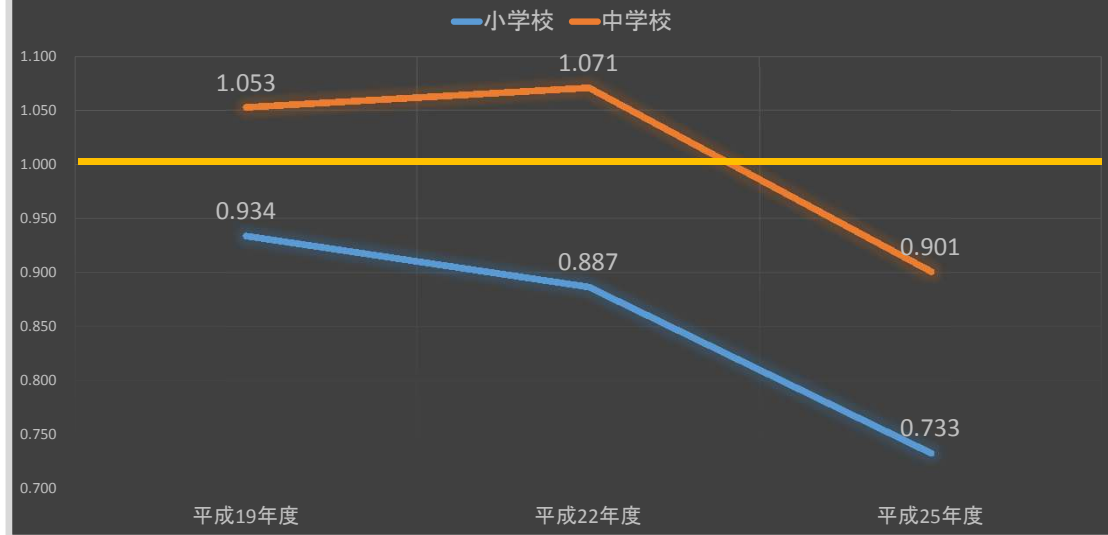
都道府県の順位に「茨木市」を当てはめると

学力の分布

	項目	H19年度	H22年度	H25年度
小学校	正答率40%以下の割合	0.934	0.887	0.733
	正答率80%以上の割合	1.090	1.102	1.277
中学校	正答率40%以下の割合	1.053	1.071	0.901
	正答率80%以上の割合	0.923	1.113	1.166

学力低位層・学力高位層の割合の変化を見るために
全国の割合を1として算出した数値を指標としている。

正答率40%以下の割合

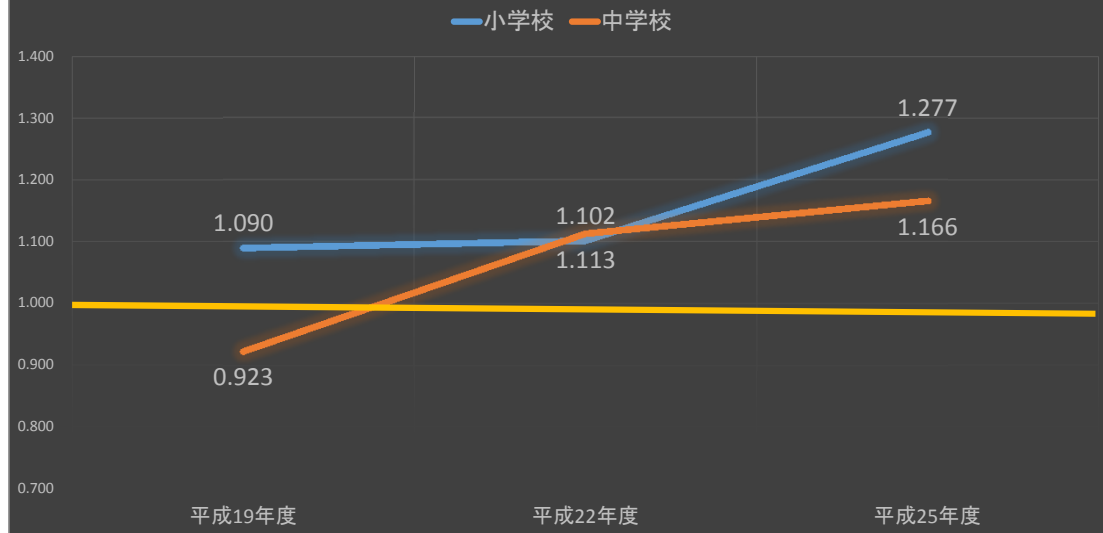


学力の分布

	項目	H19年度	H22年度	H25年度
小学校	正答率40%以下の割合	0.934	0.887	0.733
	正答率80%以上の割合	1.090	1.102	1.277
中学校	正答率40%以下の割合	1.053	1.071	0.901
	正答率80%以上の割合	0.923	1.113	1.166

学力低位層・学力高位層の割合の変化を見るために
 全国の割合を1として算出した数値を指標としている。

正答率80%以上の割合



NHKニュースウォッチ9 2013.11.15放映



3月定例会に提案され、 議決した教育予算の主な内容①

「茨木っ子ジャンプアッププラン28」

- 保幼小中連携教育の推進 3,204万円
- 保幼小中一貫教育連携協議会・ブロック連携会議の開催
- 中学校区ブロック連携支援教員の配置
- 中学校生徒指導支援教員の配置

3月定例会に提案され、 議決した教育予算の主な内容②

「茨木っ子ジャンプアッププラン28」

- 小中学校図書館支援員の全校配置 2,896万円
- 小中連携した体力向上の取組
(小中6年間スポーツテストの実施) 368万円
- 小学校スクールカウンセラー配置体制の充実 1,011万円

3月定例会に提案され、 議決した教育予算の主な内容③

「茨木っ子ジャンプアッププラン28」

- スクールソーシャルワーカー配置体制の充実 1,335万円
- 相馬芳枝科学賞の創設 20万円
- 特色ある学校づくり推進交付金の拡充 270万円
- 豊かな人間性を育む取組み推進事業の拡充 80万円

今回の施策に関連する主な質疑①

「保幼小中連携教育について」

- 学カテストの状況調査の
結果の説明と課題について
- 知力、体力、に加えて、
徳育・徳力も育むことについて
- 保幼小中連携の取組み効果
が出る時期のめどについて

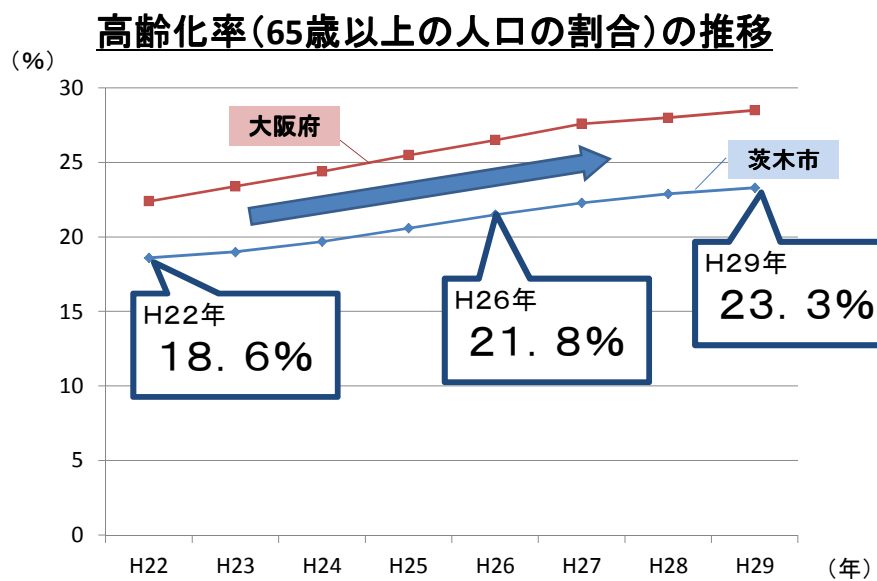
今回の施策に関連する主な質疑②

「学校図書館支援員の配置について」

- モデル校の取組成果と課題は
- 具体的に何を目的とし、その活動内容は
- 図書館支援員の選考基準は
- 学校図書を選定方法は

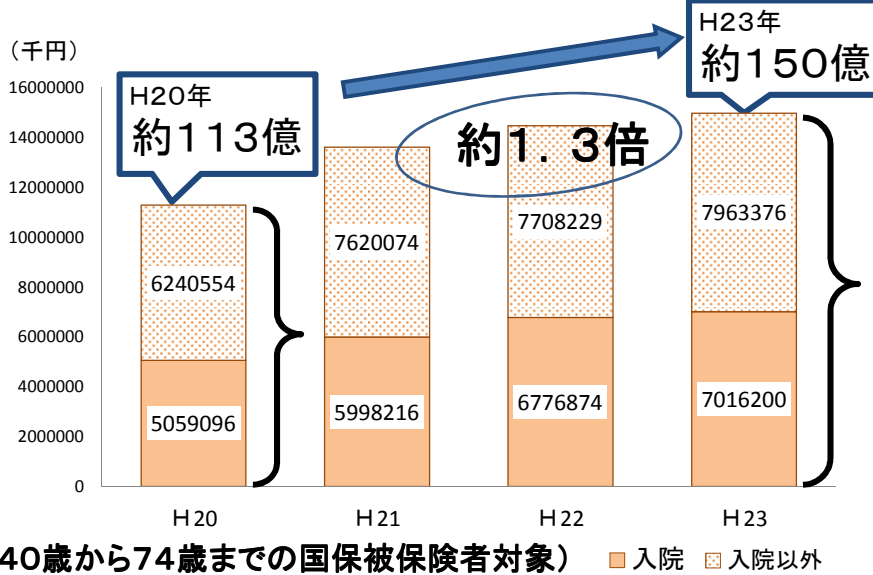
保健医療に関する施策について

高齢化に伴う茨木市の医療や介護の現状



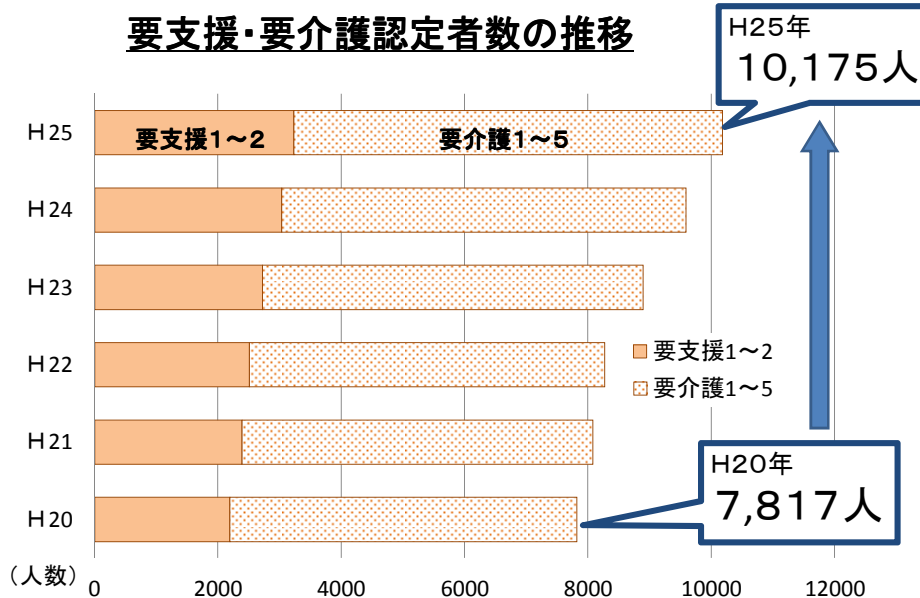
高齢化に伴う茨木市の医療や介護の現状

茨木市の国保被保険者全体の医療費(入院・入院外)の推移



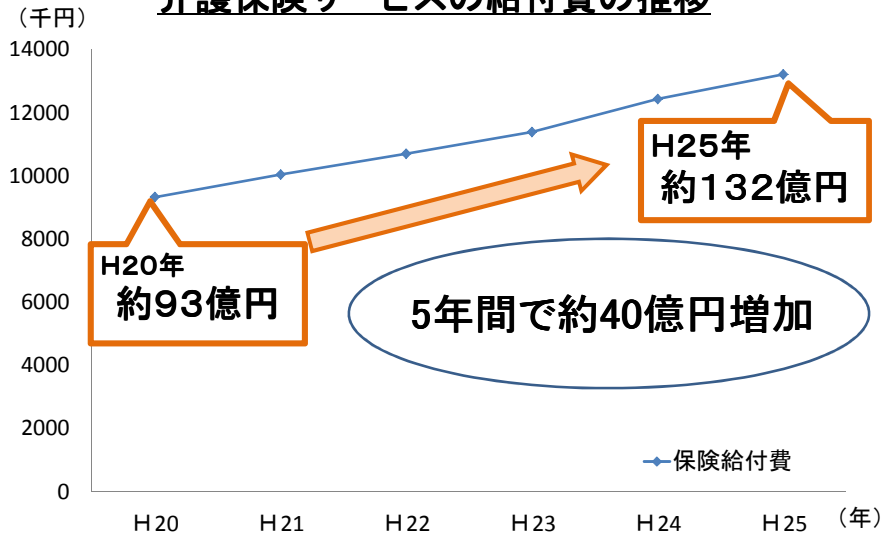
高齢化に伴う茨木市の医療や介護の現状

要支援・要介護認定者数の推移



高齢化に伴う茨木市の医療や介護の現状

介護保険サービスの給付費の推移



H24年度がん検診受診率

区分	全国	大阪府	茨木市
胃がん	9.0%	5.4%	5.7%
肺がん	17.3%	8.7%	28.7%
大腸がん	18.7%	13.3%	28.0%
乳がん(2年間)	17.4%	15.9%	20.0%
子宮頸がん	23.5%	21.3%	27.9%

日本のがんの現状

昭和56年からがんは死亡原因の第1位、がんによる死亡者数は年間30万人を超える。生涯約2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなっている。
茨木市の死因別死亡数においても、がんが33.4%と最も多い。

保健医療に関する 平成26年度当初予算の主な内容

✚ 救急医療体制の充実(総額1億9427万円)

市内医療機関への救急搬送率の向上を目指す

- 二次救急医療体制を確保するための補助金
- 小児科の二次救急医療を実施する医療機関への補助金
- 指定診療科目(内科、脳神経外科、整形外科、循環器科、小児科、外科)を新たに増設する医療機関への補助金

保健医療に関する 平成26年度当初予算の主な内容

✚ 胃がんリスク検診の対象年齢を拡充 (事業費196万円・総額816万円)

- 40、45、50、55、60、65歳に70歳を追加する

✚ がん検診(無料クーポン)の推進 (事業費3553万円・総額5712万円)

- 大腸がん検診の継続実施(40、45、50、55、60歳)
- 子宮頸がん、乳がんの対象年齢の見直し
⇒ 子宮頸がん-20歳、乳がん-40歳
- 過去の子宮頸がん、乳がん検診の未受診者に
無料クーポン券の再発行、再勧奨

保健医療に関する 平成26年度当初予算の主な内容

- ✦ 特定健診自己負担の無料化
(追加分879万円・総額1億2592万円)

500円⇒無料化

《特別会計》

国民健康保険事業会計(289億7796万円)
前年度比 0.6%(1億6798万円)増

介護保険事業会計(152億9598万円)
前年度比 9.9%(13億7839万円)増

今回の施策に関する主な質疑

市内救急医療体制の充実について

- 市内救急医療体制についての認識と目指すべき姿、受け入れ体制の目標、医療機関との連携や支援について
- 3次救急の受け入れの実態や三島医療圏での小児救急の広域化について
- 市内の医療従事者の確保や医療施設の積極的誘致活動について

今回の施策に関連する主な質疑

特定健康診査や各種がん検診について

- 特定健診の現状と無料化による効果について
- 特定健診やがん検診の未受診者解消ための取り組みについて(原因調査、具体的解決策、数値目標)
- 特定健診やがん検診、胃がんリスク検診などの対象年齢の拡充について

今回の施策に関連する主な質疑

健康寿命を延ばす取り組みについて

- 医療費や介護保険給付費の抑制に有効な手段として、保健師による地区訪問活動を最大限に活用した施策の展開することについて
- 健康寿命を延ばすための健康づくりを推進する条例や健康推進のための取り組みについて
- 医食同源をキーワードに施策を展開し、まちのイメージアップをはかることについて
- 介護予防事業の取り組み状況について

これからのまちづくりに関わる プロジェクトについて

- 立命館大学開学関連・JR茨木駅周辺整備
- (仮称)JR総持寺駅
- 彩都地区
- 安威川ダム
- 新名神高速道路

立命館大学開学関連・JR茨木駅周辺整備

JR茨木駅の近く、岩倉町に立命館大学が2015(平成27)年4月、
大阪いばらきキャンパスを開設。



2014年7月
工事現場のようす
(立命館大学資料より)

- 開学当初の学部は経営学部、政策科学部及び4つの研究科。
- 学生数は約6,000人。
- 2016(平成28)年度には総合心理学部を設置予定。
- 2019(平成31)年度には7千数百人の学生数となる予定。
- 隣接地には防災公園、敷地内には、市民が利用可能な図書館やホール等の施設も建設される。

立命館大学開学関連・JR茨木駅周辺整備

茨木市が大学や関係機関とともに進めている事業

- 市民が利用可能な図書館やホール等の施設整備(市民開放施設)

市民開放施設 整備事業	26年度当初予算額	内 訳	
		地方債	一般財源
	12億1,520万円	10億9,360万円	1億2,160万円



出典:立命館大学公表資料

※総事業費見込み 57億円
 (国庫支出金28億円
 市債及び一般財源29億円)

立命館大学開学関連・JR茨木駅周辺整備

茨木市が大学や関係機関とともに進めている事業

- 市民が利用可能な図書館やホール等の施設整備(市民開放施設)



出典:立命館大学公表資料

- ・定員約1,000名の大ホール
- ・定員約100名の小ホール
- ・400名規模のレセプションスペース
- ・ラーニングスペース
- ・図書館
- ・音楽練習施設
- ・レストラン

立命館大学開学関連・JR茨木駅周辺整備

● 市民開放施設に関わる質疑について

- 立命館市民開放施設の利用に関する交渉内容について。
- 市民利用についての利用条件や優先予約について。
- 施設のネーミングの決定方法について。
- 市民開放施設への商工会議所施設の入居について。
- 市民開放施設の利用状況を考慮に入れた、新しい文化芸術ホールの事業計画、スケジュール等の再考について。
- 市民開放施設について、ホールの設計前に、本市と大学でどのような協議をされたのか。
- 市民利用の予約は半年前となっているが、これでは舞踊や演劇など大道具を使用する舞台の準備期間としては無理があると思うがいかがか。

立命館大学開学関連・JR茨木駅周辺整備

● 茨木市と立命館大学の協議経過(9月議会での報告事項)

- 市民開放施設の名称は「(仮)立命館いばらきフューチャープラザ」
- ホール利用申し込みの優先順位について
 - 第1順位 立命館の各種公式行事(入学式・卒業式・学園祭等)
茨木市の各種公式行事(成人祭・市民音楽会等)
 - 第2順位 立命館関連行事(教育研究活動、学会など)
茨木市・文化振興財団が主催、又は共催の事業
【利用希望月の9ヶ月前から受付】
 - 第3順位 立命館大学課外活動団体利用
【利用希望月の7ヶ月前から受付】
 - 第4順位 市民(市内在住、在勤、在学者及び市内事業者)
【利用希望月の6ヶ月前から受付】

立命館大学開学関連・JR茨木駅周辺整備

- 茨木市と立命館大学の協議経過(9月議会での報告事項)
 - ・ 大ホール・平土間ホール・小ホール・音楽練習室の利用は、平成27年6月から。予約受付は26年12月から。
 - ・ 利用料金
(資料5 23ページに添付)

立命館大学開学関連・JR茨木駅周辺整備

茨木市が大学や関係機関とともに進めている事業

- 隣接する岩倉公園の整備

岩倉防災公園 街区整備事業	26年度当初予算額	内 訳	
		地方債	一般財源
	2億8,100万円	2億5,290万円	2,810万円



※総事業費見込み 33億円
(国庫支出金11億円
市債及び一般財源22億円)

立命館大学開学関連・JR茨木駅周辺整備

茨木市が大学や関係機関とともに進めている事業

- JR茨木駅からの歩行者道や周辺の都市計画道路などの整備

	26年度当初 予算額	内 訳		
		国庫支出金	地方債等 (地方債) (諸収入)	一般財源
岩倉町地区道 路整備事業	21億4,871万円	7億5,129万円	10億3,960万円 4,250万円	3億1,532万円
茨木松ヶ本線 整備事業	13億2,700万円	3億9,600万円	2億9,160万円	6億3,940万円
西中条奈良線 整備事業	1億5,500万円	3,025万円	2,220万円	1億2,555万円
JR茨木駅構内 エスカレーター 整備事業	4,720万円	2,360万円		2,360万円
合 計	36億7,791万円	12億114万円	13億9,590万円	10億8,087万円

立命館大学開学関連・JR茨木駅周辺整備

茨木市が大学や関係機関とともに進めている事業

- 市民が利用可能な図書館やホール等の施設整備(市民開放施設)
- 隣接する岩倉公園の整備
- JR茨木駅からの歩行者道や周辺の都市計画道路などの整備

関連事業の26年度当初予算総額

51億7,411万円

立命館大学開学関連・JR茨木駅周辺整備

茨木市が大学や関係機関とともに進めている事業

- 5月臨時会で、予算の補正がありました。

	26年度5月補正 予算額	内 訳	
		地方債	一般財源
岩倉町地区道路 整備事業	1億2,000万円	1億800万円	1,200万円

※補正予算の内容

JR茨木駅東口駅前広場整備に関連して…

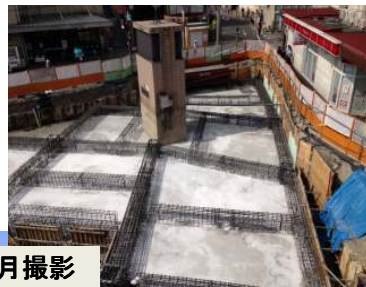
- ① 26年2月の公共工事設計労務単価の改定による契約変更。
- ② 建築基準法施行令の改正により、デッキ工事の天井やエレベーターの安全対策。
- ③ 駅前広場デッキの基礎構造物の撤去工事の工法変更。

立命館大学開学関連・JR茨木駅周辺整備

JR茨木駅 東口広場の工事のようす(平成27年3月末 工事完了予定)



2014年5月撮影



2014年10月撮影

立命館大学開学関連・JR茨木駅周辺整備

※そのほかにも立命館大学、各種団体と協定を締結。

- ◆市・茨木商工会議所・立命館大学による「連携協定」
2012(平成24)年8月に締結。
地域社会の発展や人材育成等に貢献するため、相互に連携協力を図る包括的な協定。
- ◆市・立命館大学・イオンリテール株式会社による「災害に強いまちづくりに関する協定」
2014(平成26)年4月18日に締結。

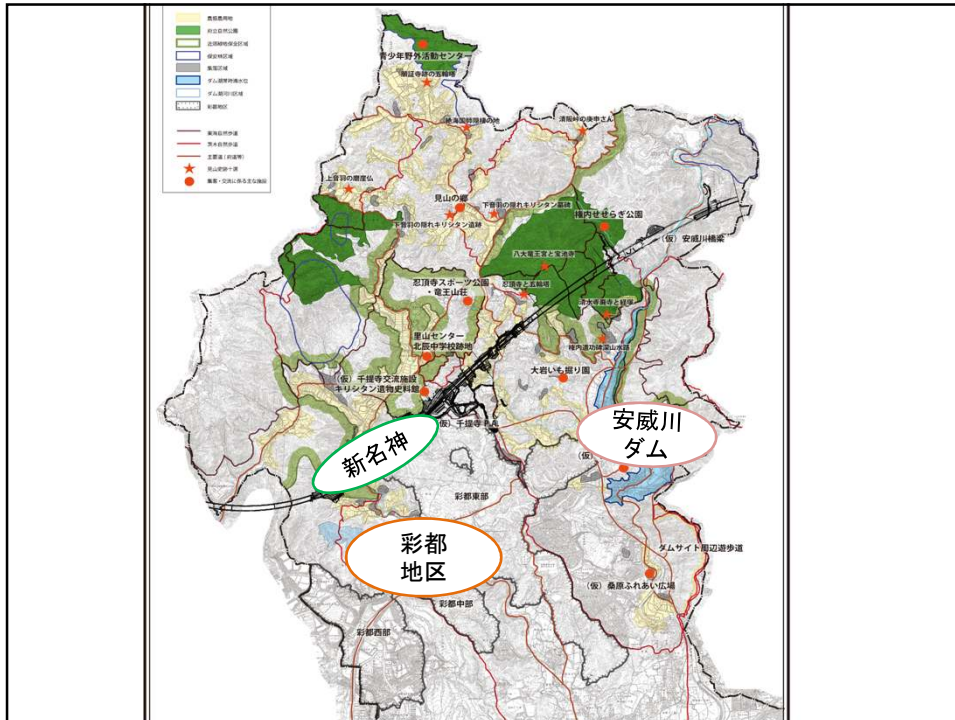
(仮称)JR総持寺駅と周辺開発について

(仮称)JR総持寺駅



平成30年春、東海道本線(JR京都線)摂津富田駅・茨木駅間(庄一丁目)に、「(仮称)JR総持寺駅」が開業予定。

	26年度当初 予算額	内 訳		
		国庫支出金	地方債等	一般財源
(仮称)JR総持寺駅 整備事業	2億2,540万円	1億1,270万円	3,400万円	7,870万円
(仮称)JR総持寺 駅周辺整備事業	1億4,660万円	4,460万円	(地方債) 1,730万円 (諸収入) 1,035万円	7,435万円
阪急総持寺西口駅前 広場基本構想の策定	620万円			620万円
合 計	3億7,820万円	1億5,730万円	6,165万円	1億5,925万円



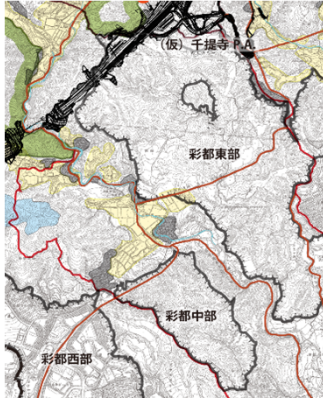
彩都地区について



- 西部地区内には大型商業施設や小・中学校が立地
- 彩都和中心市街地を結ぶバス路線が開通
- シンボルゾーンであるライフサイエンスパークにはライフサイエンス関連分野の研究所や企業が立地

	26年度当初 予算額	内 訳		
		国庫支出金	地方債	一般財源
山麓線整備 事業	4億5,540万円	2億円	1億8,000万円	7,540万円
佐保地区内線	4,337万円			4,337万円
彩都建設推進 事業	240万円			240万円
合 計	5億117万円	2億円	1億8,000万円	1億2,117万円

彩都地区について

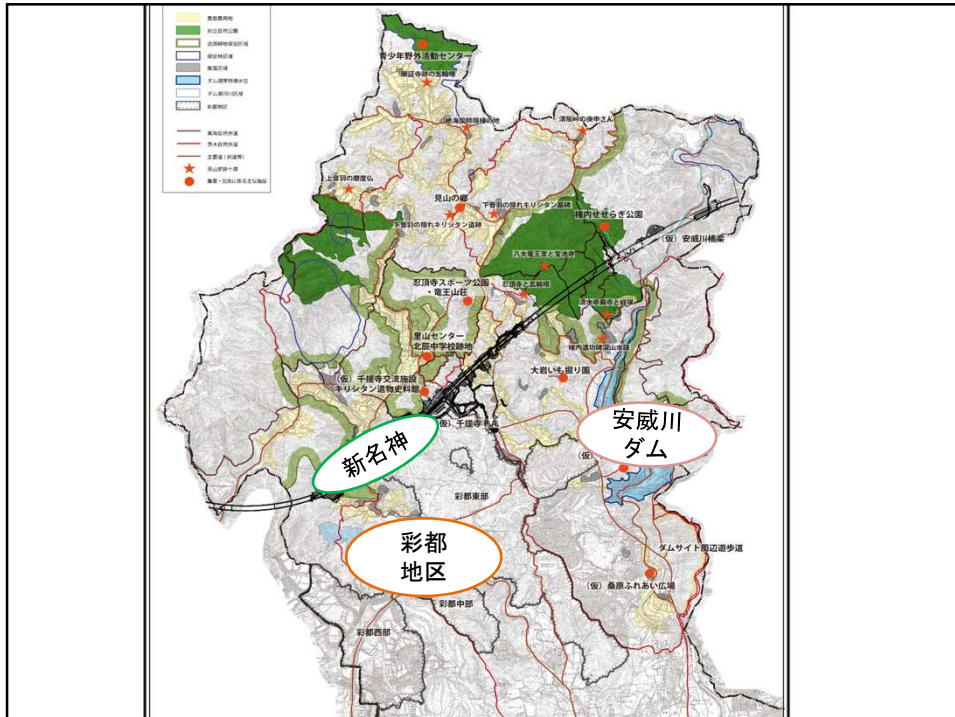


【中部地区】…63ha

- ・企業用地として開発工事が進む。
- ・物流拠点。
- ・2015(平成27)年度には完成予定。

【東部地区】…367ha

- ・6年前にURが事業から撤退。
- ・今年8月から事業用地として、45ha、25haが開発を進める。
- ・いずれも物流施設を予定。



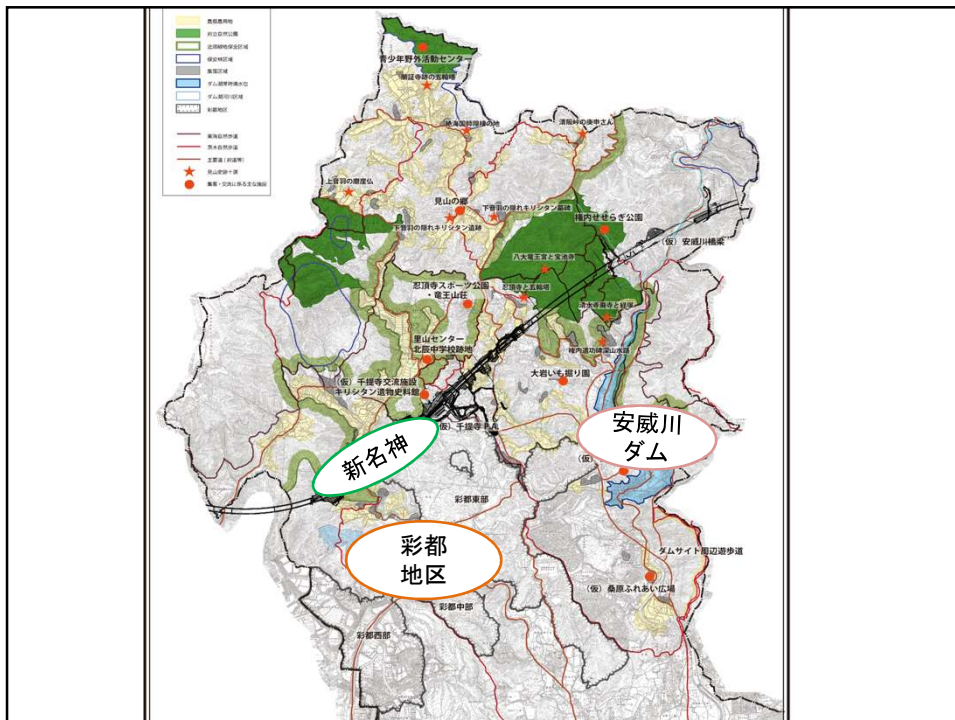
安威川ダムについて



- 1967（昭和42）年に発生した北摂豪雨災害を契機に計画立案。
- ダム完成により時間雨量80ミリ程度の大雨までは、下流域での洪水被害を防ぐことを想定。
- 大阪府が2014（平成26）年度本体工事に着手。
- 2020（平成32）年完成を目指している。

	26年度当初 予算額	内 訳		
		国庫支出金	諸収入	一般財源
ダム関連事業※	8,060万円		6,500万円	1,560万円
ダム建設推進 事業	287万円			287万円
合 計	8,347万円		6,500万円	1,847万円

※ダム湖畔展望広場・ダムサイト周辺遊歩道・阿武山自然歩道の構想検討委託
大岩南北線の設計委託



新名神高速道路について

- 名古屋市を起点として神戸市に至る約174キロメートルの高速道路。
- 名神高速道路や中国自動車道の慢性的な渋滞の解消や沿道地域の経済活性化、大規模災害時の代替道路としての機能などが期待されている。
- 茨木市域では、北部地域を横断する予定で、市内にインターチェンジ等も整備される予定。

	26年度当初 予算額	内 訳		
		国庫支出金	地方債	一般財源
新名神関連事業 ※	1億230万円	1,100万円		9,130万円
新名神推進事業	19万円			19万円
合 計	1億249万円	1,100万円		9,149万円

※千堤寺地区交流拠点広場整備事業、安元地区内市道整備工事

新名神高速道路について



7月31日、北部整備対策特別
委員会にて現地視察